

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	triple IT
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永孝生
適応がん種	非ホジキンリンパ腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	NHL-27
登録日・更新日	2016年 11月 22日
削除日	
出典	Blood 2006 108:1165-1173 Br J Haematol. 2010 148:15-25. AJNR Am J Neuroradiol. 2006 27:468-70.
入力者	伊勢崎竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	メントレキセート	5mg	15 mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(髄注)		day1
No.2	キロサイド	20mg, 40mg	20 - 40 mg/body			
No.3	プレドニゾン	20mg	20 mg/body			
	生理食塩液	20mL	*1			

1コースの期間	
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能() ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	【中止・延期基準】 Plt<5万/ μ L、PT-INR >1.4、APTT > 38秒
前投薬	
その他の注意事項	◆併用注意薬 ・ヘパリンNa (6時間以内の併用) ・低分子ヘパリン(12時間以内の併用) ・抗血小板薬 クロピドグレル、テクロピジン、など ・抗凝固薬 アピキサパン、ダビガトラン、ワルファリン など ・内服の併用注意薬の休薬期間は、院内の「凝固系薬術前休薬一覧」に準拠する。 ※アスピリンは併用してもよい ※ヘパリンカルシウム(ヘパリン皮下注)は10000U/dayまでは併用してもよい *1 原則、総量が5mLになるように調製する。

記入者	伊勢崎竜也
確認者	竹内 正美